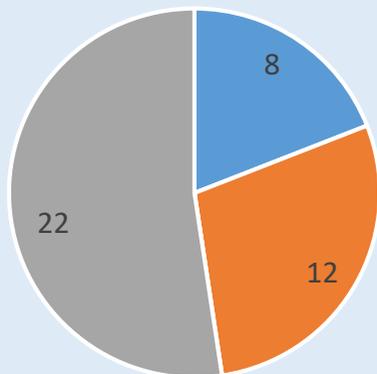


地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの主な意見（区東北部）

地域医療連携システムの導入状況



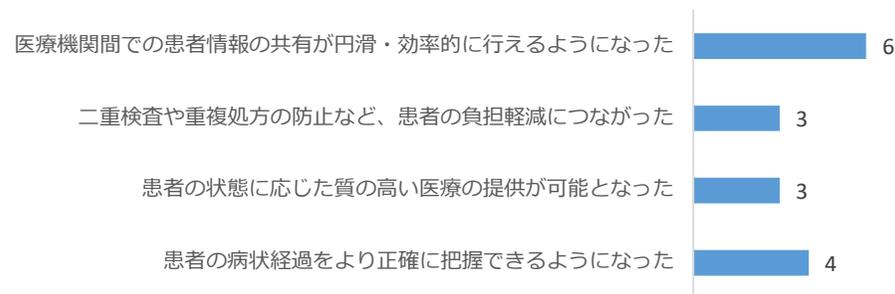
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

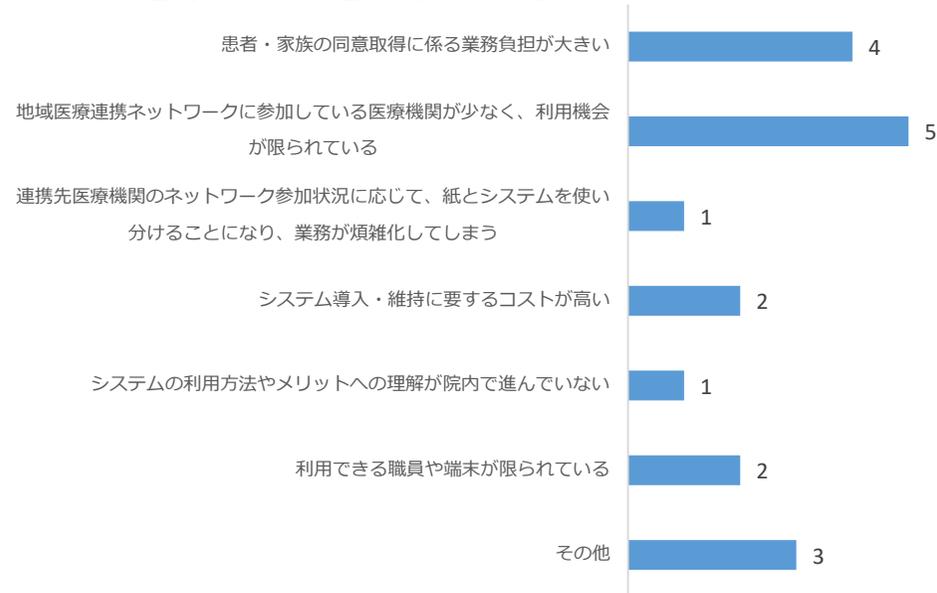
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	4	0
急性期/サブアキュート	13	3
回復期/ポストアキュート	4	0
慢性期	4	0
ケアミックス（急性期・回復期）	5	4
ケアミックス（回復期・慢性期）	3	1
その他	9	0
計	42	8

■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



導入や運用面での課題（複数回答可）



その他

- ・画像閲覧ができず利用機会が少ない
- ・維持コストが高くメリットを感じられない
- ・連携先の医療機関へのシステムインストール手段が確立していない

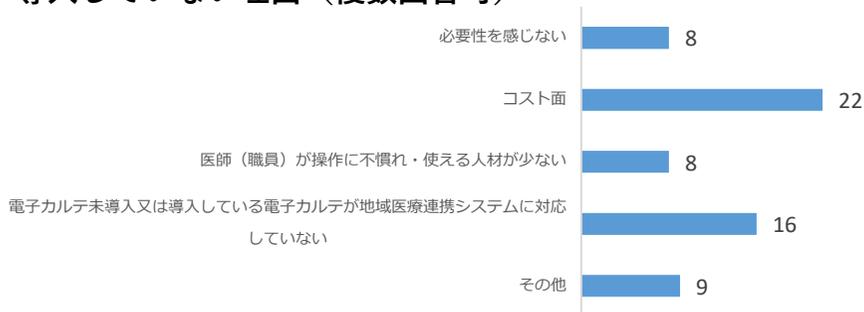
事前アンケートの主な意見（区東北部）

■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・ 診療情報提供書のFAX送付
- ・ 転院調整システム「ケアブック」「わんコネ」
- ・ 法人内は電子カルテで連携。他院は診療情報提供書（郵送、fax）で対応
- ・ 医師やMSWからの電話

導入していない理由（複数回答可）



その他

- ・ 導入を予定するも相手側が対応していないことが多く活用できない
- ・ グループの方針
- ・ 本院のソーシャルワーカーと連携を取っているため

どのような点が改善されれば導入するか

- ・ 電子カルテ導入
- ・ 1.電子カルテ端末上で操作が完結出来れば 2.導入コストと導入後の人件費のコストと診療報酬請求の収益が見合うものであれば
- ・ システムの入力に時間をとられるのは負担となるため導入は考えられない。
- ・ 簡単かつ情報内容の正確さや情報量が、当院の形態に合えば。
- ・ 現状の運用に支障はなく、総合的に必要性を感じた際は検討する。
- ・ 医師等の理解
- ・ まず紹介元が、システムに入れる様に転出した先での費用負担等について了解を得てそれを入力する必要がある。（紹介する際に患者側に説明が、十分にされ、かつ患者側の同意が必須の為、その点についてもシステム上に組み込まれていなければ活用できない。）
- ・ 使用しやすく、多くの医療機関と連携しているシステムであれば導入したい

■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

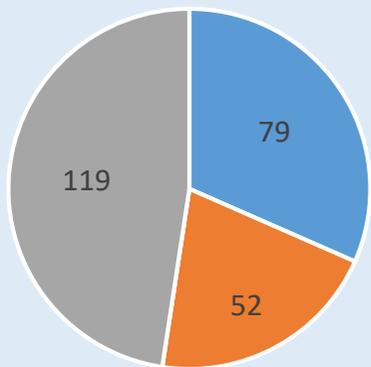
- ・ 維持費用のコストを下げてもらいたい。閲覧できる項目をもっと増やして欲しい
- ・ 操作端末、ネットワークを切り替えることなく同一端末で作業が完結出来、画像データ等の大容量データでも院内のインフラと同様のスピードで閲覧できるのが望ましい。
- ・ 同一地域内（区や都）でのシステムが同じものであることが最低条件（システムが異なれば診療情報に制限がかかり、必要な情報が得られなければ、意味がない）である。また、連携に関わる人材の育成（ケアマネージャーまで含め）もこれからは社会として必要である。
- ・ 一患者一IDで、すべての医療福祉施設が1つのカルテを共有し閲覧できる。
- ・ セキュリティが確保された上で病院内外にかかわらず患者カルテ情報を参照出来る地域医療連携を利用できる事が理想。
- ・ 二次受け以降の入院に関しては、より長期化が予想される為、経済的負担を要するので、その部分での双方の理解が反芻されないと使用できない
- ・ 東京都総合医療ネットワークのように、より多くの医療機関同士の診療情報がすぐに共有出来るシステム
- ・ 電子カルテの情報を地域医療機関、福祉事業所、薬局との間で情報の共有と交換ができる。
- ・ システム障害等が発生した際のバックアップ体制が整備される。

■ 地域医療構想に関する意見

- ・ 参加施設を増やせるように無料又は低コストが良い
- ・ 国策としてセキュリティー対策や連携システムの導入を支援いただき、国民に還元いただく形を検討いただきたい。
- ・ まだまだ診療報酬の改定によって、自病院のスタイルをどのようにしていくかがその都度変化が求められている。診療報酬に関わらず、地域のニーズによって役割分担する医療行政が求められるがその役割を医師会だけでなく、行政もネットワークを通じて特殊な補助金によって、誘導するような行政側が構築するような仕組みが出来上がるとよい（不採算を補う形）。
- ・ ユーザーである病院のことを考えた、使いやすい平易なシステムを求める。総合的な視点からシステムを構成し、病院に入力作業の負担を増やさず、かつ、各病院にとってメリットがないと普及はしないと思う。
- ・ マッチングシステムのようなものがあっていいと思う。
- ・ 高齢化社会のなかで、医療機関と福祉事業所の間で患者・家族のACPに伴う情報の共有ができればと思う。

事前アンケートの主な意見（都全域）

地域医療連携システムの導入状況



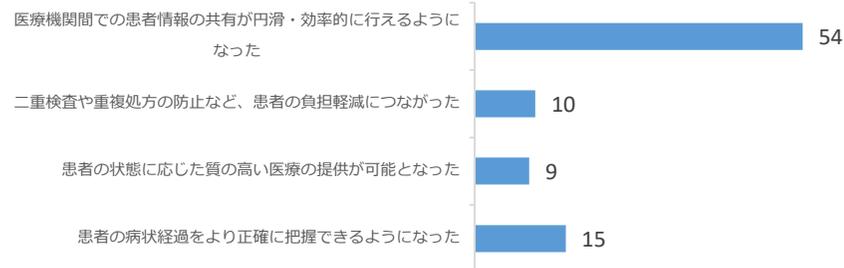
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

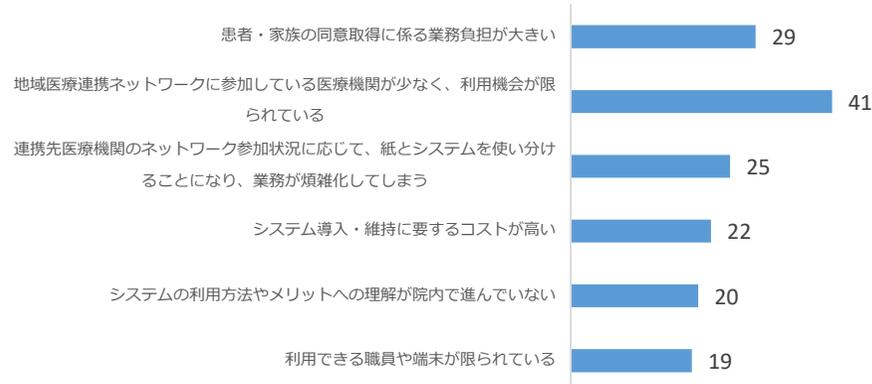
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	18
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	79

■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



導入や運用面での課題（複数回答可）



■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

導入していない理由（複数回答可）

